

★団体名	武庫川流域圏ネットワーク
★代表者名	遠藤 知二
★活動の目的	流域連携のもと流域市民の思いを活かした魅力的な川づくりと地域づくりに貢献する
★設立年月日	2011年7月9日
★会員数	個人会員 67名 12団体
★主な活動場所	武庫川流域（宝塚市内全域を含む）
★事務局情報	
・住所	宝塚市仁川北3丁目11-4
・電話	090-7092-6021
・FAX	なし
・E-MAIL	mukogawaken.net@gmail.com
・HPのURL	<a href="https://muko.jimdown.com">https://muko.jimdown.com</a>
★最近の活動状況	<p>・武庫川流域圏で活動する市民団体が連携しながら、安全、安心、魅力のある武庫川の姿をさぐり、流域の自然環境保全につながる活動を行っています。</p> <p>・兵庫県、西宮市、宝塚市などの協力を得て、河川敷の清掃と特定外来生物オオキンケイギクの駆除を行っています。2025年度は武庫川での掃除会(6月15日、3月15日)、仁川でのオオキンケイギク駆除会(OKGK0)(4月21日、5月31日、3月15日)を実施(のべ139名参加、ごみ84kg、オオキンケイギク327kg回収)。5月の駆除会では、建設業協会から6社の企業ボランティアを得ました。兵庫県西宮土木事務所と共同で行った遮光シートを用いたオオキンケイギクの駆除実験は2年目の結果を得て、ひと博共生のひろば(2月)で報告しました。</p> <p>・2018年の西宮市内津門川での魚類大量死事件以来、津門川の自然の回復を目指して、兵庫県による魚道改良や水生植物育成地に協力し、専門家の協力のもと定期的に津門川の魚類生息調査を行っています。2025年度は、10月13日に実施しました。結果は、活動報告会、ひと博共生ひろば、宝塚市環境パネル展などで報告しました。</p> <p>・地域の環境情報やイベント情報を発信し、環境学習や環境保全の普及・啓発活動を行っています。2025年度は講演会として原田禎夫氏(同志社大学准教授)「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」(7月13日)、活動報告会では「武庫川流域でのオオキンケイギク駆除を考える」をテーマとしたミニシンポジウム(基調講演として橋本佳延氏(ひと博主任研究員)「河川や街路への外来植物の侵入を知る」、他報告4題)と一般講演2題(11月30日)の発表がありました。</p>